

令和8年、新しい年を迎えました。いよいよ今日から3学期がはじまります。皆さんは、冬休みの間ゆっくり過ごすことができましたか。

1月6日（火）10：18ころ、山陰地方を震源地とする地震が起こり、この三豊市でも震度4を記録しました。当日学校では、部活動や総合実習などが行われており、登校していた皆さんも突然のことで大変驚いたことと思いますが、シェイクアウトの姿勢を取り、教頭先生から「屋外に避難しなさい」という放送を受け、落ち着いて避難ができていました。しかも、前回の訓練で指摘された通り、ほとんどの生徒がスリッパのまま避難ができていました。中央農場においても、先生の指示に従って安全確保ができたと聞いています。家庭で過ごした生徒の皆さんもシェイクアウトなどの行動がとれたでしょうか。

今回の地震で、昨年1月1日に発生した能登半島地震を思い出した人もいるのではないのでしょうか。今回、負傷者は6名と報道されていますが、能登半島地震では240人を上回る人命が失われました。地理的な要因も影響し、道路網が寸断し、孤立した集落が発生、水道や電気、通信などのライフラインの復旧に時間がかかりました。高齢化が進む地域では、避難生活が長引き、被災者の健康を脅かしました。

このような災害から、私たちは何を学び、何を備えておけばよいのでしょうか。

まずは、避難行動を確認することが大切です。①シェイクアウトの行動をとること、②揺れがおさまれば避難をすること。これが大原則です。今回、地震が起こっても活動場所でそのまま留まっていた人もいました。確認しておきますが、下原農場を含め、本校での避難場所は東門付近の駐車場、中央農場では農場管理棟前になっています。指示がなくても、避難場所に避難できるようにしておいてください。

次に、備蓄品の確認です。幸い学校は指定緊急避難場所として指定されていますので、地域住民が避難されてきた際の食料や水などの備蓄品は保管されています。でも、皆さんの家庭ではどうでしょうか。家庭では、食料品や水の他に、水洗トイレが使えなくなった時の対策のため、携帯トイレの備蓄も必要とされています。備蓄品は7日分を想定し、携帯トイレだと、1人あたり1日5回つまり35回分が必要なようです。また医薬品やバッテリー類などの生活に必要なものを持ち出せるようにまとめておくことも重要です。何が必要なのか、ネットで検索するとリストが出てきますので、皆さんも確認してみてください。

あとは、火災防止のための消火器や家具の倒壊防止のための対策なども必要です。今から21年前の1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、家具の転倒・落下による死者

が多く、また大規模な火災が発生しています。主な火災の原因は、ガス機器などによるガス火災と、電気配線の異常によって発生した電気火災です。能登半島地震での火災もこの電気火災が原因とされています。

今回、震源地近くの山陰地方では最大震度5強を記録しました。専門家によると、このクラスの地震は、いつどこで起こってもおかしくないとのこと。皆さんが安心・安全に生活するには、災害に対ししっかり備えることが大切であるし、その備えは、「訓練や準備に勝るものなし」と考えています。学校で行われる防災訓練を、緊張感を持って行い、それをそれぞれの家庭でも生かして欲しいと思います。

最後に、2学期終業式では、皆さんに夢に向かって目標を立てることの大切さを伝えました。今年度も最終学期となりました。改めて尋ねてみたいと思います。皆さんの夢は何ですか。それをかなえるための今年の目標や行動は定まりましたか。何も考えられていない人は、今日の前のことを一生懸命取り組むことから始めてください。3年生は卒業に向け、1、2年生は進級に向け、日々の生活や学習に真剣に向き合うことが大切です。3学期も頑張っていきましょう。